

適当なリズムで楽しそうにお願いします

一花 「JK美少女のお○んちんを絶頂治療してあげよう！」

一花 「さーくるえるふろ」

■治療一週目 先生！ おちんちんが生えてしまったんで

す！

ノックの音。

一花「し……失礼します」

ドアの開閉音。入室

セリフの途中で椅子に座るよう促される。

一花「せ、先生……あの……友達にここがいいって紹介されてきた
んですが……は、はい、すいません！ 座りますね」

一花「……あの……えっと……あ……その……は、はい。すませ
ん……その……お……お……」

臆病な子が勇気を出して大きな声でいつきに話すイメージ
ジで

一花「……おちんちんが生えてしまったんです！」

恥ずかしがりながら

一花「あ……う……はうう……はうう……」

まずは、見せて？ と言われる。戸惑った様子で

一花「え？ あ……でも……あ……はふ……うう……見せなきや駄
目なんでしょうか？」

促される

一花「は、はい……そうですね……見なきや……先生も診察できな
いですよね……」

意識するとおちんちんが膨らんできたことに気がつく

一花「あ！ 先生！ ちよちよっと待ってください！ もう少しだ
け待ってください！ あ！ 今は駄目なんです！」

強引にスカートをめくられて確認させられる

一花「あ！ いや！ 駄目！ 駄目なんです！ あ！ あ！ まつ
て！ まつて！ ああああ！ ああああ！！ やだやだやだや
だ！！ 見ないで！ あ！ あ！ やだ！ やだああああ！」

大きくなつたおちんちんを確認させられて、呆然とした
様子

一花「あ……あ……あ……あ……あ……
あ」

少し泣きながら。

一花「あ……あ……ああああ……ううう……ひいいい……うう……
あああ」

涙ぐみながら頑張つて必死に説明

一花「違うんです……う、勝手に……何もしてしてなくとも大き

くなつちやつたんです……その……お、おちんちんが……ショーツの柔らかい所に擦れて……ここに来る途中でも擦れて……」

一花「い、一度大きくなつちやうと、それで又擦れて……またそれで……」

一気にまくし立てるように

一花「ど、どんどん！ どんどん勝手におつきくなつちやつたんです！ その！ 本当に！ エツチな事とか何も考えてないのに！ 勝手に！ おつきくなつちやつたんです！」

勝手に大きくなつて突然の射精。

一花「え？ あ！ あ！ あ！ 何で？ 何で勝手におつきくなるの！ あ！ あ！ あ！ やだ！ やだ！ やだあ！！ あ！ あ！ あああ！ ダメええええええ！ やあああ！」

射精音。パニックになりながら

一花「止まつて！ 止まつて！ やああああ！ やああああああ！！！ ！！ 止まつてええええええ！ ダメええええ！！！ やあああ！！！」

絶頂後の快感。

一花「はあああああ！ はああああああ！ あ！ あ！ はああああああ！！！ は！ は！」

その後、冷静に戻る。落ち込みながら。

一花 「あ……あ……すいません！ すいません！ あああああ！ 先生、汚しちやつた！ 汚しちやつた！ ごめんなさい！ ごめんなさい！ ああああああ！ すいません！ すいません！」

諭される

一花 「は……はい。すいません……お、落ち着きます……あ……よくあることなんですか……でも……はい。深呼吸ですね……すーはー……すーはー……すー あ、よくあることなんですか？」

一花 「は、はい……もう一度……見るんですね……いえ、自分でします！ ……自分でスカートを捲ります」

スカートをまくり上げる。先生にショーツからはみ出ているおちんちんを見られている状態。恥ずかしがりながら少し興奮状態

一花 「は……は……先生……ど、どうですか……こ、これでいいでしようか……あ、はい……その……クリトリスがおちんちんになっちゃうって病気なんですね……あ……ん……は！」

快感に耐えている状態

一花 「す、すいません……空気に触れているだけで……なんか……は！ おちんちんが……ん！ ふ！ は！ は！」

快感に耐えながら頑張つて発言

一花 「はあ……はあ……あう……はう……ど、どうすれば治るんでしょうか？」

一花 「射精？ え？ えええ？」

一花 「ぜ、絶頂つて！ い、いくつて事ですよね？ 今みたいに！？」

説明を受ける。おちんちんのことはちょっと忘れている
状態。

一花 「え……え！？ はい。はい。薬による治療か……そ、その、
い、いって自然治療するかつて事ですよね……どっちがいいん
でしようか？」

一花 「はい……はい……。つまり、お薬は副作用が出る可能性があ
るんですね……自然治療を受けてからでもお薬による治療に：
…はい……」

射精しては消え去るような声で

一花 「では、自然治療で……射、射精して治す方法で……お願いし
ます」

■治療二週目 先生！ 治療をお願いします！

ノックの音

一花「し、失礼します」

扉の改変音。

歩いて椅子に座る。

一花「は、ない。あれから特に変わった事はないです」

一花「は、はい！ もちろんです！ じ、自分でしていません」

たくし上げて

一花「え？ で、でも……う、そ、そうですね……」

一花「じ、自分で見せなきやいけませんよね……う」

一花「う……ううう。す、スカートを……めくります」

一花「ううう：ちょっと待つてください本当に恥ずかしくて……」

スカートを自分でゆっくりと捲る。

一花「う……ううー。う。は、恥ずかしいです……これでいいですか？ あ……はい、もっと持ち上げます……うー！」

一花「こ、これでみえてますでしようか！」

パンツに手をかける

一花「え、やあきやあ！」

頬を叩く音

一花「あ、そうですね……直に見なきや……す、すいません。はた
いちやいました」

一花「本当にすいません！　本当にすいません！」

諭される

一花「はい……すーは……すーは……お、願いします」

一花「うー！　はあ……あ……ん！　すいません！　変な声がでち
やつて！」

一花「人にショーツ下ろされた事なんて無いので……ん！　はあ：
…はあ……恥ずかしくて目を開けてられませんん……」

一花「ん、ん、ふう」

一花「うう、先生ー、どうでしようかー　な、何か言ってください
よう、ひやう！」

一花「せ、先生！？　え、さ、触つちやうんですか？」

一花「そ、そうですね。触らないとわからないことがあるんですね。
ひ、ひいい！」

一花 「あ、あ、あ！ 先っぽ！ そ、そんなに強く指先で！ ああ！
あ！ は！」

一花 「う、う：は、はい。こ、ここ鬼頭っていうんですか、はああ
あ！ す、すいません！ 指先でぎゅぎゅってこねられるとあ
ああ！ はあああ！ んつく！ んぐ！」

一花 「し、刺激が強すぎて、あ、あ！ ん！ ふう！ はあ！」

先生 本当に自分でしてない？

一花 「え？ ほ、本当です！ 自分で触ったりなんかしていません
はあああ！ はあ！ はあ！ さわさわって触られると！ そ
こ！ とつても敏感にあ！ あ！」

先生 【本当に本当？】

一花 「う、うう：本当です：ん、ん！ 自分では触っていないんです！
で、でも…」

一花 「しょ、ショーツが擦れて：おつきくなつちやつて：そのまま
かつてに」

先生 【全部話して】

一花 「ひいいい！ ま、また！ 先っぽ！ き、鬼頭ぐりぐりって
ええ！ あ、あ、あ！ ひぐ！」

一花 「え？ あの：」

先生 本当のこと言わないと治療できない

最後は消え去りそうな声で

一花 「は、はい、すいません、その、いつちやつたあともう一度自分で触っちゃいました」

一花 「ひいいいい！？ あ！ あ！ あ！ せ、先生！ 先生！ お、おちんちんがああああ！」

先生 【こんなふうに】

一花 「こ、こんなに激しく触っていませんああああ！ こ、声出ちやうよう！ ん！ ん！ んんんん！」

先生 【みんなそうだから安心して】

一花 「み、みんなそうなんですね？ あ！ あ！ こ、こんなこと！ みんなして！ あ！ あ！ 先生の手がおちんちん全体ぎゅっと握って！ はあああああ！ 前後にいい！ みいい！ 前後にいい！ あ！ あ！ あ！ あ！」

先生によく見てと言われます

一花 「あ！ あ！ あ！ おちんちんが！ おちんちんが凄いことになつてますう！ はあああ！ はああああ！ 先っぽがまつかになつてえええ！！！」

一花 「おちんちんの皮からあ！ あ！ あ！ 鬼頭がにゅこつて見

えたり！隠れたり！あ！あ！あ！あ！二、
こんなあ！こんな事するんですねああああ！」

一花「はああ、あああ、はあ、ああ！はああ、あああ、ああ！」

一花「せんせつい！これ！また！うぐう！ひぎ！いいい！
だめ！だめ！ダメでうううう！あ！あ！あ！」

一花「またああ！先生にかかつちやいます！あ！あ！あ！」

早くしごかれる。

一花「きやああ！ん！くはあああ！思いつきり握られながら
あああ！あ！あ！ああああ！そんなに早く擦らないで
えええ！きやあああああ！」

射精。

射精のたいみんぐで、どく！どくつ！と 合わす感じ
のあ！あ！でお願ひします。

一花「あ！あ！あ！あ！あ！あ！あああ：」

一花「はあ：はあ：」

一花「で、出ちやいましたふええすいませーん。また先生に：きや

つ！」

一花「あはああああ！あはあああああ！せ、先生！今動か
しちやだめ！今動かしちやああああ！」

一花「も、もう一回？　もう一回なんて無理です！　無理です！
あ！　あ！　あ！　あ！　は！　は！」

一花「こ、この前はその、勝手にショーツで擦れていっちゃつてまだ収まってくれなくてだから、はああ！　くあ！：あああああ！
あああああ！」

一花「もう、すっごくいっちやいましたから！　いっちやいました
から！　あ！　あ！　あ！　無理です！　無理ですああああ！」

一花「先生！　あ！　うぐう！　本当にい！　ダメなんです！！！
ん！　ん！　んぐう！　辛いんです！　おちんちんが！　い
つたばかりでああああ！」

一花「あああ！　そんな無理やりいいい！　ま、またああ！　ひぎ
い！　いぐう！　あがああああ！」

一花「おちんちん大きくなりすぎていだいい！　あああ！　あああ！
い、い、いい！　いぐう！　あ！　あ！　きやああああ！
ああああああああ！」

射精のたいみんぐに合わす感じで　あ！　でお願いします。

射精。

一花「あ！　あ！　あ！　あ！　あ！　…ふ　ふぐ：　ふ、ふう
…」

一花 「は、はあ…はあ…」

一花 「う、ひぐひぐ…怖かつたですよう…死んじやうかと思つちやいましたよう」

慰めの言葉をかけられる

一花 「う、うう…は、はい…ありがとうございます」

除菌ティッシュでふきふき

一花 「あ、じ、自分でできますよう。お、おちんちんの先っぽティッシュでお掃除されるなんて…は…あん、んん…は、はい。先っぽ、冷んやりして気持ちいいです」

一花 「は、はい…先生。今回もありがとうございました。次も一週間後ですね」

■治療三週目 先生！ このピンク色のふにふにした物つ

て？

ノックの音

一花「失礼します」

扉の改変音

一花「先生、今日もよろしくお願ひいたします」

最後は消え去りそうな声で

一花「は、はい！ 今度は言われたように……自分でしてないです」

一花「そ、それで……今日も……この前と同じようなことをするんでしようか？」

物を取り出す音

一花「え？ 何ですか？ ピンク色をして……あ、はい。触っていいんですね」

一花「わー、ふにふにしています。ふにふにー ふにふにー。えへへ、何だか可愛らしいですね」

一花「あ、ここ穴が空いているんですね。へー。はい、指を突っ込んでみます」

一花 「なかも、ふにふにしていますー。えへへ。癒しグッズか何かですか？ え、オナホール」

脱ぐように促される

一花 「あ、はい。治療を開始するんですね。まずはスカートを…」

脱ぐ音

一花 「う、うう。や、やっぱり、すっごくはずかしいです」

一花 「い、いえ！ 自分でできます！ 次はショーツを…」

脱ぐ音

一花 「う、う、うー！ ぬ、脱ぎました！」

消え去りそうな声で

一花 「そ、そんな、まじまじおちんちん見られると…」

一花 「ど、どうでしようか？ 少しは良くなっているんでしょうか？」

一花 「はい、ベッドで横になりますね」

ローションを取り出し水でとく

一花 「それは？ ローション？ あ、治療に使うんですね」

一花 「あ、はい触つてみます。わ、わ、ぬるぬるしてますよぬるぬ

る」

一花「え、オナホールの中にそのぬるぬるを入れちゃうんですか」「れちゃうんですか！？」

生唾を飲む音をおねがいします。

一花「んく。で、でも今日はその、おつきくなつてないから、はい
らひやん！」

一花「はあああああ！ 先生の手でええ！ おちんちんがぬるぬる
でぬるぬるで！ はああああ！ はああああ！」

一花「あ！ あ！ ああああ！ は！ は！ お、おつきくなつち
やいまし、んくう！ うそ！ こんなに簡単に！ うそ！」

一花「ん！ 冷たい！ お、オナホールがおちんちんの先っぽに！」

ゆつくりと先端だけ挿入

一花「くはあ！ ああ！ さ、さきつぽがああ！ オナホールのプ
ニプニにイイああああ！ ふにふにい！ ああああ！」

一花「ぬるぬるがあ！ あ！ あ！ あ！ ん！ くはああ！」

一花「あ！ あ！ あ！ 先生！ 先生いい！ ぎゅぎゅつて先つ
ぼ締められるとああ！ はああ！ はああ！ はあああ！」

一花 「やあああ！ 回さないでええ！ ああああ！ うぐぐうう！
くううう！ ぬるぬるで優しく擦られてるのに はあああ！
なにこれえ！ はあああ！ おちんちんがあ！ おちんちん
がああ！」

一花 「は！ は！ は！ お、おちんちんがああ！ は！ は！
信じられないぐらいおつきくうう！ は、は、はああ」

一気に奥まで

一花 「も、もう終わりですか？ ひいい！」

一花 「はあああ！ おちんちんがあああ！ はあああ！

一花 「オナホールに食べられちゃいましたああ！ ああ！ はああ！
ふわあああ！」

ゆっくりと上下に動かす

一花 「あ！ あ！ あ！ あ！ ふちゅふちゅって！ はあああ！
ふちゅふちゅって！ はあああ！ エツチな音おおおあ！
あ！ あ！」

一花 「は！ は！ はああ！ え？ 先生！？」

途中から激しく

一花 「はあああ！ どうして上を捲り上げるんですか！？ きやあ
あああ！」

一花「やあああ！ おっぱ！ おっぱいいい！ 男の人に見られたことないのにはあああ！ はあああ！ 先生！？ オナホール動かすのやめてええ」

一花「きやああ！ 乳首！ キスしてるう！！！ あ！ あ！ あ！ はああああ！ はああああ！」

一花「おっぱいすわれながらああ！ オナホールでええ！ あ！ あ！ あ！ いやああああ！」

一花「やああああ！ も、揉まないで！ はああ！ はあああ！ おっぱい！ 私のおっぱいがあ！ はああああ！ ん！ んん！」

一花「おっぱいそんなん！ 強く吸つちやああ！ はあああ！ はああ！ は！ は！ は！」

一花「も、もうおちんちんが！ おちんちんが！ はああああ！ はああああ！ あああああ！」

射精

一花「ああああ！ きやあああああ！」

クールダウン

一花「は、は、は！」

途中でキス

一花「先生：どうして：んんぐう！ んんん！？ キス！？」

途中でオナホールを動かせる

一花「いやああああ！ 先生！ だめ！ 私キスもまだ！ んんぐう！ 本当にやめて、きやあああ！」

一花「先生！ 先生！ オナホールほんとうにだめえ！ きやああん！ ん！ ちうちゅれえ！ んぐ！ ちうついちゅ！」

一花「やああああ！ オナホールの中私のせーえきできたな、んぐちうちゅれつれえちゅ！」

一花「んちうちゅう！ ぬるぬるがあああ！ 私のせーえきでもっとぬるぬるにれええちうちゅじゅる！」

一花「いつたばかりなのに！ いつたばかりのにいい！ やああああ！ はああああ！ れつっちゅじゅるちゅ！ れええちうじる！ ん！ ん！」

一花「くはああああ！ いつたばかりでおちんちがああああ！ くはあああ！ ん！ ん！ うぐう！」

一花「ん！ ん！ んぐう！ ちうじゅる！ キスされながらあ！ は！ は！ おっぱいあああ！ あ！ あ！ おちんちんも！ あ！ あ！ あああ！ ひぐう！」

一花「やああああ！ 解んない！ もう解んない！ れええちうちうじるちう！ ん！ ん！ うああああ！ は！ は！ は！ きやあああああ！」

一花「う、う！　ま、まだ！　いぐうううう！」

絶頂

一花「あ！　あ！　あ！　あ！　あ！　あ！　はあああああ！　きやあああああ！」
あああ！　あ！　あ！　あ！」

クールダウン

一花「は、は、は、は、は…」

泣きそうになる

一花「は、は、は、う、う、うう」

一花「ふ、ふえええ。ふええええ」

一花「ぐす…うう。はい…びっくりしちやつて…もう大丈夫
です」

一花「はい…また一週間後ですね」

■治療四週目 先生！え？舐めちや駄目です！

ノックの音

一花 「失礼します」

扉の改変音

一花 「せ、先生、今日もよろしくお願ひいたします」

一花 「はい……ちゃんと言われたように一週間、射精していません」

一花 「そ、それで今日はどういう……」

一花 「ベッドの上ですね……はい」

一花 「え？ エ？ よつんばにですか！？」

一花 「は、はい……」

一花 「先生……後ろに回って……顔が見えなくてちょっと怖いです」

脱がす音

一花 「え？ 先生？ スカート！」

一花 「は、はい、我慢します」

一花 「う、ううう……先生にショーツ丸出しで……こんななかつこう」

一花 「あ！ シヨーツも！？？ だ、ダメえ！」

一花 「や、やだ！ みんな見られちやう！ ああああ！」

先生【勃起している】

一花 「だつて！ だつて！ 一週間も我慢していて、ひやん！ 息吹きかけないでえ！」

一花 「は、は…あ、またオナホール…使うんですね」

オナホール挿入

一花 「え？ この格好のまま？ ひい！」

一花 「あ！ あ！ あ！ 先っぽ入れられるだけで！ はああああ！
はああああ！」

一花 「ずっと一週間我慢してたのであああ！ あ！ あ！ はあ！
はあ！ あ！ んぐ！」

一花 「ちよつと、動かされるだけでああ！ はああ！ はあああ！
きやう！？」

一気にオナホール挿入

一花 「先生！ 先生！？ お尻舐められてるうういやああ！ きや
あああ！」

一花 「おちんちんがあああ！ おちんちんがあああ！ ぬる！ ぬ

るで！ ひう！ いい！ あ！ あ！ あ！ あ！」

一花 「ん！ ん！ ん！ ん！ お尻ねぶっちゃいやああ！ あ！
あ！ あ！」

一花 「ああああ！ そこアヌス汚い！ ひいいい！ 舌が奥までえ
ええ！ お尻舐めちゃいやああ！」

オナホール激しく動かす

一花 「が！ が！ ぐひいい！ ひいいい！ 激し！ いい
いい！」

一花 「は！ は！ こんなのおお！ 駄目ええ！ 牛さんみたいに
絞られて！」

女性器にキス

一花 「ひやう！？」

一花 「そこ先生！？ おまんこ！ キス！？ いやあああ！」

一花 「はぐう！ いいいい！ そんな！ こんなことって！ あ
あああ！ 絶対しちゃいけないのにいい！ あああ」

一花 「お、おまんこなめられながら、おちんちん！ はあああ
はあああ！」

一花 「ん！ ん！ い、い、いつちやう！ ひぎい！？」

一花 「根元ぎゅつてされてえ！ せーし出せないです！ ああああ！
おまんこ！ そんな中までひいいい！」

一花 「いやあああ！ 先生！ 先生！ おちんちんの根本ぎゅつと
するの離してえええ！ 離してえ！ ああああ！ あ！ あ！
はあああ！」

一花 「きやあああ！ お尻にまたキスう！？ はああああ！ あ！
あ！ あ！ あ！ あ！」

一花 「おちんちん本当に苦しいんです！ あ！ あ！ あ！ あ！
一花 「いきたいです！ いぎだいいです！ ひぎ！ いかせてええ
え！」

根元を離されて激しく動かされる

一花 「あああああ！ きやああああ！ 出ちやう！ 出ちやううう！
あ！ あ！ あ！ あ！ ああ！」

射精

一花 「う！？ ぐ！ くは！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！ は
あああああ！」

クールダウン

一花 「は、は、は、は……はあ」

鳴き声

一花 「は、は、う、ひん、ひぐ……頭がどうにかなつちやつて死ん
じやうかと思いました」

一花 「は、は……はひ、治療は順調なんですね……」

ノックの音

一花「し失礼します」

扉の改変音

一花「先生、今日もよろしくお願いたします」

一花「そ、それで今日の治療は……」

一花「は、はい。すいません。準備に時間がかかるんですね」

時計の音

一花「うう……」

一花「先生まだかな……」

時計の音

一花「ふん」

一花「はふ……」

一花「先生まだかな」

時計の音

一花 「せ、先生！ ま、まだでしょうか？ 先生！？」

扉が開く音

一花 「あ、大声出してすいません……でも、もうもう」

一花 「あうう、そうですよう！ 一週間我慢してたんですよう！」

ローションの音。生唾を飲む音

一花 「ごく。んつく」

声を震わせながら

一花 「きよ、今日もそれ使うんですね……はは」

一花 「ごめんなさい。ちょっと震えが……はあ……はあ」

一花 「あ、自分で脱ぎます！ スカートを」

衣服を脱ぐ音

一花 「しょ、ショーツを」

衣服を脱ぐ音

一花 「は……は……そ、そんなにみないでくださいよう」

一花 「あああ……見られているだけでおつきく……恥ずかしいよう」

一花 「は、はい、ベッドに座ります。え、これ、オナホール、私が持つんですか？」

一花 「え？　え？　今日は自分でするんですか！？」

先生【好きに動かしていい】

一花 「は、はい……えーと、オナホールにローションを……んしょ……うまくはいらないんですけどねんしょ」

一花 「そ、それでは……あれ、はいらない」

一花 「あ、おちんちんを左手で固定するんですね……んんん！」

一花 「くふ！　先っぽが入った！　はあああ！　はあああ！」

一花 「あ、はい、ゆっくりと動かして……はあああ！　はあああ！」

一花 「あ！　あ！　回転させるんですか！　あああ！　先っぽが！」

一花 「ああああ！　一週間がまんしてたんですねよああああ！　気持ちいい！　あ！　あ！」

一花 「え？　もうちよつと！　もうちよつと先っぽだけで！　あ！　あ！　あ！」

一花「あは！せんせ！キス嬉しーは！」は！は！もつとこっちに顔を寄せてください」

耳舐め

一花「れええちう。先生のお耳……ちうちう。んんんう！はあああ。れえちうじうるゆちう！は！は！はああ！」

一花「れええちうじう。ん！ん！はふう。おちんちんオナホールでいじりながら先生の耳舐めるなんてれええちう！」

一花「えうれう。ん！れえええちうじうちうちう！」

一花「はふはふ！んぐ！でもおちんちん気持ちよくてうまく舐められなれええちうじるちうちう！」

耳元で

一花「は！は！は！は！エツチな声！先生の耳元できかれちやつてます！は！は！は！はあああ！」

一花「れええちうじうちう！ん！ん！ん！ちうちう！」

一花「はふ！れえちうじうる！くふ！ちゅちゅちうれえ！」

一花「れええちうじるちゅ！ちうちう！は！は！は！」

一花「は、反対側もむいてください、ありがとうございます！」れえちゅるちうちゅ！」

一花「は！　は！　は！　は！　はあああ！　せんせ！　先生！、
れえええちうじる！　ちゅちゅ！　はあああ！」

一花「あうう！　おちんちん気持ちいいですよう！　れえちうじる！
治療しているだけなのいい！　れええちう！　いけない事し
ている気がしますううう！　あ！　は！　は！　は！」

一花「れえええ！　あむう！　くちゅくちゅの音がもうどつちかわ
からないですう！　れえちうじるちゅう！」

一花「ん！　ん！　ん！　はんんん！　ああああ！　れえええち
う！」

キス

一花「んぐう！　れえちうついじつ！　ちゅるちゅる　ん！　ん！」
一花「はあああ！　はあああ！　あぐう！　オナホール一気に奥ま
で入つて！　んぐ！　れええちうじる！」

一花「あ！　あ！　ああ！　はあああ！　はあああ！　れえちじる！
手が！　手が止まらないよう！　止まらないいい！　れええ
ちうじる！　はああ！　はああああ！」

一花「れうちうちうちうじる！　は！　は！　は！　ちうじる！
あ！　ん！　んん！　んんん！　ちうじるちゅちゅ」

一花「え？　あ！　おっぱい！　ひうん！　おっぱいにまたキス！
あ！　あ！　あ！　はあああ！」

一花 「先生におっぱい吸われながら！ あ！ あ！ あ！ 自分で
するなんてええ！ あ！ あ！ あ！ はああ！」

一花 「ひ！ 乳首甘噛み！ んつく！ あああ！ あ！ あ！ あ！」

一花 「やああああ！ 手が！ 手が勝手に動いちやう！ あ！ あ！
はあああ！ はああああ！ んんん！」

一花 「はあああ！ はああああ！ こんなああ！ 驄目え！ 驄目
え！ こんなの！ は！ あ！ あ！ ああ！」

一花 「馬鹿になりそうで怖い！ あ！ あ！ あ！ あ！ はああ
あ！」

一花 「う！ う！ う！ もう先生！ せんせえ！ いつてもいい
ですか！？ いつてもいいですか！？」

一花 「ひう！ れつちうちつつじる！ ちうちゅちうちゅ！ んん
ん！ い、いく！」

射精

一花 「あ！ あ！ あ！ あ！ あああああ！」

クールだるん

一花 「は、は、は……は」

キス

一花 「あああ……あふう……ちうじるちゅうちゅちゅ」

一花 「は、は、は……い、意識が……一瞬とんじやいました」

一花 「はふう」

■治療六週目 先生！ これがフェラチオですか？

ノックの音

一花 「失礼します」

扉の改変音

一花 「先生！」

抱きついてキス

一花 「ちうちゅちゅちゅちゅ、ちうちうれええじる！ ちゅちゅちゅ
ん！ ん！」

一花 「一週間も！ 一週間も我慢していたんです！ れえちゅじ
るちゅ！ ん！ ん！」

一花 「あはああ！ お尻！ お尻揉んでくれるですね！ れえちゅ
じるちゅちゅ！」

一花 「唾液もっと吸わせてください！ れえちゅちゅじゅりゅちゅ！
ん！ ん！ ん！」

甘えた声で

一花 「ちうちゅじるちゅ！ は！ は！ は！ んん！ せーんせ
えー」

一花 「は、早く治療をしてくださいよう」

一花 「は、はい落ち着きます！ すーはー すーはー すーはー」

一花 「え？ 先生のおちんちん？ は、はい」

一花 「わ、私が脱がすんですね……ず、ずぼんのベルトをとつて……」

一花 「このまま下に……ふわ……ああ、男の人のパンツ見たの初めてです……あ、あ、おつきくなってるの解ります」

一花 「ぱ、ぱんつも脱がしますね……よいしょ、ひ！」

一花 「こ、これが本当のおちんちん……に、にてるけどごつごつしているんですね……」

一花 「き、触ります……えい！」

一花 「あはあああ……熱いです……こんなに厚くなるんですねわあああ」

一花 「やつぱり先生も触られると気持ちいいんですか？」

一花 「えへへそうなんですね……」

一花 「は……見ていると……なんだか、あう……はああ、ちゅ」

一花 「あ！ ゴメンなさい！ ゴメンなさい！ 勝手にキスしちやつて！」

先生【いいよ好きにして】

一花 「は、はい。わー。先っぽ柔らかくて……下のほうは硬くて……」
：はあああ、こ、これが男の人の匂い……」

軽いフェラの演技でお願いします

一花 「……ちゆ」

一花
一ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅう
ちゅう
ちゅう
ちゅう
！
あ、
びくつ
て

一花 「えへへ、先生も気持ちいいんですね。私もおちんちん生えちゃつてますからわかります」

一花 「ちゅ……ちゅ、ちうちうちゅ、ちゅちう」

先生【もつと深く舐めて】

深いフェラの演技でお願いします

一花 「はい……もつと深く、れええええちうじるちゅ！ ちゅちゅ！」

一花 んぐ！ ちうじる！ あむあむちうじゆる！ ん！ ん！

一花 「お口の中、先生のおちんちんでいっぱいに！
えじうちうぢうぢゆる！」

一花 「れええちうじうちゅ！ んんん！ おっぱ！ おっぱい揉ま
れると！ んにゅう！ らええちうじる！」

一花 「はああ！ 乳首こりこり指先で弾かないで！ はあああ！ はあああ！ もう！ おちんちん舐められないですよう！」

一花 「れえええちうじうりゅちゅ！ ちうちうちゅ！」

一花 「んぐ！ んつく！ れえええちう！ 先生のおちんちんがぶわつておつきく！ んぐ！ じゅぱれえちうじつちう！」

一花 「あ、わかります！ らええちう。このくびれがいいんれふね？ ちうちうちゅじるちゅつつ」

一花 「先生の匂いで……れええちう。頭がぼうつとしてきちゃいましてれえちうちじるれえ。ちゅちゅ」

一花 「こうれふか？ ちうちゅ。れえええ。喉の奥できゅつてしまふ。んつぐ！ んつぐ！ じるちゅう！」

一花 「思いつきり吸います！ ちうちうれえじるちゅるちううちゅうちうれえじる！ はふう！」

射精

一花 「んんんん！ ? んつく んつく こく んく けふ！」

一花 「は、は、は……れえちうじる……こ、こんな味なんですねええちうじうちゅる」

一花 「先生も気持ちよかったですよね？ はあ……私もこの気持ちよき知っているんだもん……へへ」

一花 「あ、あの……」

一花 「そろそろ私にも……」

■治療七週目 先生！ おちんちんしごかれながらえっち

ですか？

ノックの音

扉の改変音

抱きついてキス

一花 「先生！ 先生！ れえええええちじうりゅちゅちゅ！ 好き！
好きいい！ れえちうじる！」

一花 「抱きついただけで私のおちんちんがえ！ 先生のお腹に当た
つてええ！ それだけでえ！ はああああ！」

一花 「一週間待つてたんですよお！ ちうちゅちゅちゅ、ちうちゅ
れええじる！ は！ は！ 早く治療！ 治療してください！」

一花 「ふ、服を脱いでもいいですか？ はい！」

服を脱ぐ音

一花 「お、お、お願ひします。勢いで全部脱いじやいました……
は、はやく治療して欲しいのおお！」

一花 「べつどですね？ はい！……こう上向きに？ ひい！」

一花 「あ！ いきなりおちんちん触つていただけるんですね！ は
ああ！ 気持ちいいです！ はああん！」

一花 「指先で先端くりくり素敵い！ ひん！ ひん！ ひう！」

一花 「え？ どうしちゃつたんですか？」

一花 「終わっちゃつたんですか？」

おちんちんにキスされる！

一花 「ひやつ！ あ！ センセー！ おちんちん舐めていただける
んですか！？」

一花 「あはあああ！ 素敵！ あ！ あ！ あ！」

一花 「先っぽそんな風に吸うんですねあああああ！ あああああ！
勉強になりますう！」

一花 「ひぐう！ 先っぽ吸いながら舌で敏感なところ嘗め回されて
ますうううう！」

一花 「す、すつごく、勉強になります！ ひ！ ひ！ ひ！ ひ！
あああ！ ああ！」

一気に奥まで

一花 「くはあああ！ 先生の口の中におちんちんがあああ！ 全部
入っちゃいましたあ！ はあああ！」

一花 「あ！ あ！ あ！ あ！ 涙い！ 涙いいいい！ 自分で
した時と全然違います！ はああああ！」

一花「はあ！　はああ！　おちんちん先生に食べられちゃつてます
うう！！！　ああん！　はあん！　あ！　あ！　あ！」

一花「ん！　ん！　ん！　ん！　ん！　い、い、いく！」

射精

一花「くはあ！　あ！　あ！　あ！　あ！」

一花「せ、先生！　すいませんすいません！　我慢できませんでし
た」

連續で舐められる

一花「ひや！　あああああ！　いま、まだいつたばかりであ！　あ！
あ！　あ！」

一花「私のせーえきせんせーにのまれてるううう！？　あああ！
すごい！」

一花「いえ！　やめないでください！　気持ちいいですよう！　あ！
あ！」

あ！

一花「ま、またあ！　大きくなっちゃいましたあ！　あ！　あ！
あ！　はああああ！」

一花「あああ！　お尻揉まれてますうう！　そのままおちんちん舐
められるの気持ち良すぎますううう！　んぐ！　は！　は！
は！」

一度だけ強くおちんちんが吸われる

一花「くは！」

一花「は！　は！　は！　はああああ」

一花「こ、これで終わりじゃないですか？」

一花「つ、次はいったい……あ、先生のおちんちんもすご」

一花「え？　入れちゃうんですか？」

一花「私のおまんこに？」

一花「治療と……関係あるんですね！　いえ！　お願ひします！
お願ひしますよう！　先生の！　先生の！　おちんちんいれ
てくださいいい！」

一花「あ、あ……はふ、おちんちんが……先生のおちんちんが……
私のおまんこに」

挿入

一花「ひぎいいいい！」

一花「んああああ！　一気に奥まで！　くはあああああ！」

ピストン

一花「きやあああ！　いきなり動かないでええ！」

一花「ああああああ！」

一花「私のおまんこが

ああ！ ひぐう！」

一花 「あう！ わだしのおちんぢん！ ぎゅつて握られてる！ はああああ！」

一花 「あ！ あ！ あ！ あ！ おちんちん入れられながらおちんちん擦られてるよううう！ くはああ！ ああ！ あああ！」

一花 「あううう！ あううう！ おちんちんしこしこされながらああ！ 先生のおちんちん奥までええ！ はあああ！」

一花 「うそ！ うそ！ い、痛くないです！ もう痛くないんです！ 気持ちいいんですねよう！ はあああ！ はああああ！ どうなっちやうの私！」

一花 「あ！ あ！ あ！ あ！ は！ は！ は！ は！ は！」

一花 「ひいいい！ お尻、今触っちゃあああ！ はああああ！ はあああ！」

一花 「んぐう！ くう！ きやい！ は！ は！ は！ は！」
あああ！

一花 「くは！ 目がちかちかして！ あ！ あ！ あ！ あ！ は

一花 「き、き、気持ちいい！ はあん！ ああ！ はああ！ あ！ あ！ あ！ あ！ あは！」

一花 「きやう！ おちんちんのさきっぽくりくりい！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！」

あ！ あ！」

おは濁点のおのイメージです

一花 「あぐう！ 今度は根元からおもいつきりしこしこお！ お、
お、お、お、おお！」

一花 「あ！ あ！ あ！ あ！ 両手でしこしこされてえええ！
はああ！ はあああ！」

一花 「おまんこの中！ センセーのおちんちんこすられてぎもぢい
いい！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！」

一花 「ん！ ん！ ん！ おく！ おぐうう！ おまんこのおくう！
ぐりぐりつてされて！ ぎもぢいいよう！ あはあ！ は！
は！ はああ！」

一花 「あはああ！ はあああ！ こんなはしたないところ！ あ！
あ！ 見られてるよう！ でも、ぎもぢいいよう！ は！
は！ は！ は！」

一花 「、え？」

一花 「あ、あう！ 今、いつたら……治療が完了しておちんちんが
なくなってしまうんですか！？」

一花 「……いや！ いやああ！ いきたくない！ いぎだくない
い！！！ いぎい！ あ！ あ！ あ！ あ！ あ！」

一花 「やだやだああ！ もつと！ もつとしたいいい！ もつとお

ちんちんしだい！　あ！　あ！　あああ！　んぎいい！」

一花「もつどもつどおちんちんでえ気持ちよくなりだい！　あ！
あ！　ダメ！　いぎい！　ダメええ！　nぎい！」

【あ】や【お】は濁点のイメージです

一花「駄目です先生やめて！　止めてええ！　あああああああ！
止まらない！　どめらないい！　お！　お！　お！　お！
お！」

一花「い、い、い、い！　いぐ！　いぐうう！　ああああ！　いつ
いつ！　いつ！　いつじやうううううう！」

射精

一花「きやあああああああ！　あ！　あ！　あああ！　ああああ！」

クールだるん

一花「くはっ！　は……は……は……」

一花「わ、わたしの……おちんちんが……あ……は」

先生！ エピローグです！

鳥のさえずり音

キス

一花 「んー ちゅ！」

一花 「ちうちうちゅ！ セーんせ。えへ」

一花 「ん、もう嘘つきー ちうちうちゅ」

一花 「おちんちん治つてないじやないですかあ、ちゅ」

一花 「でーもー 気持ちよかつたなー あれ」

一花 「れええええちうじうちゅ」

一花 「ん？ 大丈夫ですよー ちやーんと友達の家に泊まるつてメー
ルしましたー」

一花 「えへへ」

一花 「んーちゅ」

一花 「べつどでー 全裸でこうちやつてキスするのって、素敵です

ねー」

一花 「んー 朝日が病院の窓から全身に降りかかるてきてとつても
気持ちいいですー」

気持ちいいですー」

一花 「えへへ」

一花 「んちゅ！ ちうちう れええちう」

一花 「せーんせ？ 当分治さなくていいですかからね？」

耳元で

一花 「だーいすき ちゅ」

一花 「えへへー」